

# 平成27年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年5月11日

上場会社名 株式会社デジタルアドベンチャー 上場取引所 東  
 コード番号 4772 URL http://www.digiadv.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 李 命学  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 大山 智子 TEL 03-6809-6118  
 四半期報告書提出予定日 平成27年5月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成27年12月期第1四半期の連結業績（平成27年1月1日～平成27年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第1四半期	883	131.8	8	—	5	—	3	—
26年12月期第1四半期	381	△75.1	△79	—	△80	—	△83	—

(注) 包括利益 27年12月期第1四半期 3百万円 (—%) 26年12月期第1四半期 △83百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第1四半期	0.06	0.06
26年12月期第1四半期	△1.53	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年12月期第1四半期	2,452	1,842	74.3	33.53
26年12月期	2,375	1,838	76.5	33.48

(参考) 自己資本 27年12月期第1四半期 1,821百万円 26年12月期 1,818百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年12月期	—	—	—	—	—
27年12月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

## 3. 平成27年12月期の連結業績予想（平成27年1月1日～平成27年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,400	83.7	20	—	15	—	10	—	0.18
通期	2,800	12.2	50	127.3	40	8.1	30	△55.2	0.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年12月期1Q	54,392,638株	26年12月期	54,392,638株
② 期末自己株式数	27年12月期1Q	79,576株	26年12月期	79,576株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年12月期1Q	54,313,062株	26年12月期1Q	54,313,131株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、様々な不確定要素が内在しておりますので、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、四半期決算短信〔添付資料〕2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や金融緩和などによる株価の堅調な推移や、円安の追い風による企業収益の回復基調にあるものの、個人消費の低迷や不安定な海外景気等、依然として先行きが懸念される状況にあります。

このような経営環境の中、当社グループは、当第1四半期連結累計期間には所属アーティストをはじめとした大型イベントおよびツアーの開催、関連グッズの販売、またアルバムのリリースなど行ってまいりました。

一方、利益面においては、引き続きイベントコストの管理徹底を図ってまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は8億83百万円（前年同期比131.8%増）、営業利益8百万円（前年同期は、営業損失79百万円）、経常利益5百万円（前年同期は、経常損失80百万円）、四半期純利益3百万円（前年同期は、四半期純損失83百万円）となっております。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## (物販事業)

所属アーティストキム・ヒョンジュンのセカンドアルバム「今でも」が2月にリリースされたこと、また全国ツアー開催によるツアーグッズの販売により売上は好調だったものの、一部の商品在庫について評価損を計上したため利益は減少しております。

この結果、売上高は1億20百万円（前年同期比9.4%増）、セグメント損失は14百万円（前年同期は、セグメント利益8百万円）となっております。

## (ライツ&amp;メディアコミュニケーション事業)

所属アーティストキム・ヒョンジュンの全国ソロツアー「KIM HYUN JOONG JAPAN TOUR 2015 “GEMINI”」を1月のパシフィコ横浜を皮切りに、2月の幕張メッセ3日間連続公演まで全国11都市で15公演を開催しております。また、新人アーティスト発掘・育成事業第1弾である原宿発がけつぷちボーイズグループBEE SHUFFLE出演番組の「マジ★しゃっふる!？」が4月からHTB北海道他で放送決定するなど話題を提供してまいりました。

DATVでは、1月から毎日MBC PLUS+ ZONEにて日本初放送のK-POPやバラエティ番組の放送を開始し、4月から話題の大型ドラマ、キム・ジェジュン（JYJ）主演最新作「SPY-スパイ-」の放送開始が、また5月から関西一円をサービスエリアとする光ケーブルテレビサービス「eo 光テレビ」でのチャンネル提供が決定するなど、新規会員獲得へ向けた事業を展開してまいりました。

この結果、売上高は7億58百万円（前年同期比186.2%増）、セグメント利益は22百万円（前年同期は、セグメント損失85百万円）となっております。

## (その他事業)

その他事業のうち、デジタルコンテンツ配信において、前連結会計年度に業務委託料の改定があったため売上高は減少したものの、原価の見直しを図った結果、売上高は4百万円（前年同期比24.1%減）、セグメント利益は0百万円（前年同期は、セグメント損失2百万円）となっております。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産は、24億52百万円となり、前連結会計年度末に比べ76百万円増加しました。この主な要因は、現金及び預金が3億13百万円増加、売掛金が99百万円減少、前渡金が38百万円減少、および関係会社長期貸付金が1億円減少したことによるものであります。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は、6億9百万円となり、前連結会計年度末に比べ72百万円増加しました。この主な要因は、買掛金が53百万円増加、および流動負債のその他が18百万円増加したことによるものであります。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、18億42百万円となり、前連結会計年度末に比べ3百万円増加しました。この主な要因は、利益剰余金が3百万円増加したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成27年2月12日に公表いたしました第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	770,708	1,083,809
売掛金	224,973	125,290
コンテンツ	1,354	1,341
商品	5,561	1,416
関係会社短期貸付金	100,000	100,000
前渡金	403,139	364,724
その他	76,144	86,894
貸倒引当金	△102	△78
流動資産合計	1,581,779	1,763,396
固定資産		
有形固定資産	13,406	12,637
無形固定資産	28,376	29,284
投資その他の資産		
投資有価証券	520,147	515,439
関係会社長期貸付金	200,000	100,000
その他	118,136	116,218
貸倒引当金	△86,077	△84,577
投資その他の資産合計	752,207	647,081
固定資産合計	793,990	689,003
資産合計	2,375,770	2,452,400
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	370,049	423,989
その他の引当金	6,285	6,283
その他	156,830	175,783
流動負債合計	533,165	606,056
固定負債	3,616	3,381
負債合計	536,781	609,438
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,999,492	3,999,492
利益剰余金	△2,148,884	△2,145,875
自己株式	△32,416	△32,416
株主資本合計	1,818,191	1,821,199
新株予約権	20,798	21,761
純資産合計	1,838,989	1,842,961
負債純資産合計	2,375,770	2,452,400

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)
売上高	381,303	883,795
売上原価	318,530	713,395
売上総利益	62,772	170,399
販売費及び一般管理費	142,063	162,336
営業利益又は営業損失(△)	△79,290	8,063
営業外収益		
受取利息	2,959	1,887
貸倒引当金戻入額	1,200	1,500
その他	254	9
営業外収益合計	4,413	3,397
営業外費用		
為替差損	5,160	1,871
持分法による投資損失	—	4,212
その他	619	65
営業外費用合計	5,779	6,149
経常利益又は経常損失(△)	△80,656	5,311
特別利益		
関係会社株式売却益	7,382	—
新株予約権戻入益	2,299	—
特別利益合計	9,681	—
特別損失		
固定資産除却損	14	79
持分変動損失	10,275	—
特別損失合計	10,290	79
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△81,264	5,231
法人税、住民税及び事業税	2,020	2,222
法人税等合計	2,020	2,222
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△83,285	3,008
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△83,285	3,008

（四半期連結包括利益計算書）  
（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 平成26年1月1日 至 平成26年3月31日）	当第1四半期連結累計期間 （自 平成27年1月1日 至 平成27年3月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失（△）	△83,285	3,008
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	—	—
四半期包括利益	△83,285	3,008
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△83,285	3,008

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 平成26年1月1日 至 平成26年3月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	物販	ライツ&メディア コミュニケーション	計		
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	109,862	265,202	375,065	6,238	381,303
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	109,862	265,202	375,065	6,238	381,303
セグメント利益又は損失 (△)	8,137	△85,157	△77,020	△2,269	△79,290

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、デジタルコンテンツ配信事業及音楽コンテンツ事業等を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	△77,020
「その他」の区分の損失(△)	△2,269
セグメント間取引消去	—
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△79,290

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間（自 平成27年1月1日 至 平成27年3月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	物販	ライセンス&メディア コミュニケーション	計		
売上高					
（1）外部顧客に対する売上高	120,158	758,900	879,058	4,736	883,795
（2）セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	120,158	758,900	879,058	4,736	883,795
セグメント利益又は損失 (△)	△14,807	22,122	7,315	747	8,063

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、デジタルコンテンツ配信事業及音楽コンテンツ事業等を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	7,315
「その他」の区分の利益	747
セグメント間取引消去	—
四半期連結損益計算書の営業利益	8,063

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。